

エクストリームシリーズ 2019 那珂川大会

■那珂川大会 3名チーム 優勝チームコメント

ちょらんま 大坪 穂高さん

実行委員、スタッフの皆さん、地元集落の皆さん、そして選手の皆さん、おつかれさまでした。ありがとうございました。

きっと多くの方がちょらんまってどこのチーム？と思ったことかと思います。僕たちは去年の12月に結成し鋸山アドベンチャーに初めて出場しました。今回のエクストリーム那珂川大会は2戦目です。

僕は栃木の地も初めてでしたのでそれだけでウキウキでしたし、カヤックもほぼ初、チームメンバーに会うのも12月ぶりでウキウキだけでした。

3人ともカヤックが初なので午前中は講習を受け、チン練習もしっかり積極的にやりました。

お昼は地元の方の美味しいお蕎麦を食べ、実は3人ともレース前はちょっぴり眠くなってました(笑)。

レース展開はというと、

まず最初のチームチャレンジ味噌汁当てゲーム、何だかルールもいまいちよくわからず、みんなの出方を見るためにのんびりスタート、一軒目は何か味が違うような、次のお家に行って、これだということで記入して戻ると正解！

ここからバイクセクション。ところが僕の調子が最悪で、メンバーには置いて行かれ、何度も止まって待ってもらった状況、他のチームにもどんどん抜かれ、置いて行かれ、CP1に着いたのは多分10番手くらい。ここからバイクを担ぎます。バイクを担いで歩くのもほぼ初でしたが、他チームの女性メンバーは苦戦していたり、男性メンバーに助けってもらったりしている中、我がチームの正恵さんは強い強い。全く遅れることなく、がしがし登りCP2、CP3へ。そこからCP4へ向かい山から下りた辺りでふきのとうさんの姿が。知らぬ間にまさかのトップ集団か？？しかしそう簡単にはうまくいきません。CP5を通過後、剛さんのチェーンが2度も外れるトラブル、その間に何チームも抜かれ、さらに相変わらずバイクの調子が上がらない僕の鈍足によりさらに先行され、CP6に着いたときは多分7番手くらいかな。でも順位はぜんぜん意識してなかったんで、ぜんぜん焦りはなく、完全完走を目指して初のカヤックセクションを楽しみました。剛さんのパドル逆じゃない？って笑えるオチもありましたが、講習の成果もあり思ってたよりも難なく楽しくクリア！ここから神社巡りのロケです。走るのは他のセクションより経験があるのでここで少しでもまき返したい所。順調に神社巡りをしていき、最後再び河原に戻るときに4連覇中のスパモニさんと並びました。ここが勝負と思ったのか思っていないのか、チームエースの剛さんが「行ける？」と正恵さんに声をかけます。「大丈夫」と正恵さん。すると剛さんがスピードを上げスパモニをかわします。すかさず正恵さんが「そういうことかい！」と突っ込みます。僕はどちらのことかなと思っていたので、スピード上げながらも笑ってしまいました。

そんなこんなで河原に戻ってきたときは4,5番手辺りだったかな。

ここから再びバイクセクションです。さあがんばろうと思ったのも束の間、ぜんぜんスピードが上がりません。またしても2人を待たせてしまうだけでなく、他チームの背中を押してもらってる女性にも抜かれてしまう始末。実に情けない。それでいて思ったより上りのロードが長い長い。まだか～と何度も思いました。CP8には担いで山に入って行くチームとバイクを置いて山に入って行くチームとありましたが、僕たちは担いで山に。順調にCP8,9を通過しましたが、バイクを置いて山に入ったチームが先行していたので結果は置いて行った方がよかったということでした。山を下り、オオムラサキ公園に向かうときに再びチェーンが外れましたが、無事戻れました。この時点でたしか5番手くらい。ここでチームチャレンジの書き初め。相談もせず僕が勝手に「一」と書きました。これには一番時短の漢字であったことと、一位を目指す！という思いがちょっぴり。

ここからは一番得意のオリエンテーリングセクション。剛さんと正恵さんはちんぐるまというチーム名で数々のオリエンテーリングやロゲイニングにも参加しています。

公園を出てすぐに2チームをかわしました。CP11に行くのに少しまわり道してしまいましたが、CP11を通過し山から下りると前方にCP12に向かうヘッドライトの光が。僕らもすぐさま向かいます。林道を進み、西側の谷に入っていかうか迷いながらもそのまま林道を進むも、林道の終わりのような感じになり、やはり少し戻って西側の谷へ。前を進むチームに追いつき、共に進むもなかなかの藪で思うように進まない。それでも必死に前進するとようやくCP12に。そこからさらに竹藪急登を登ります。CP13には何度か行ったり来たりを繰り返しながらナイトオ

リエンテーリングの醍醐味を楽しみながら、この小ピークかなと何度か騙されながら CP13 に。最後の CP14 は慎重に進みます。しかしなかなか手強く何度も止まっては地図を確認します。標高を確認すると途中のピークにいるのでは、ということに。そこから北へ CP14 を目指します。再度立ち止まって確認をしようとすると、すこし前に赤い点滅が！ あった！ と興奮しながら向かい、パンチすると他にパンチがありません。もしやトップでは？？ということでさらに興奮します。ここからは慎重かつスピーディにゴールを目指しました。山を下り農道のような道に出ると興奮した剛さんがスピードを上げます、必死についていく僕と正恵さん。最後のロードは3人で笑いながらキャッキヤ言いながらゴールに辿り着きました。スパモニさんの5連覇を阻止できてよかったです(笑)

ナイトオリエンテーリングはなかなか難しく、1人だったらきっと泣きべそかいてただらうなと思いました。3人だったから終始楽しく遊ぶことができました。

そして何よりもゴール後の「里山のつどい」がビールにしし肉に魚に豚汁と最高でした。また来年も是非参加したいです。そして2連覇目指します！！